

## 助成金情報

## 一般財団法人 齋藤茂昭記念財団

当財団では、障害者、発達障害、LGBTQを初めとする社会的マイノリティの能力発揮とQOL（クオリティ・オブ・ライフ）の向上に関する活動に対する支援、並びに医薬品の進歩、発展及びヘルスケアの増進に関する活動に対する支援のため、左記のような事業に対して助成を行います。

・社会的マイノリティの方が活躍できるように、特別な取り組みをしている、個人及び団体  
 ・社会的マイノリティのQOLに資する、前例のない挑戦的な取り組みや革新的な取り組みをしている、個人及び団体  
 ・社会的マイノリティに対し積極的に就労の機会を与える活動をしている、個人及び団体

## ■助成対象

## I、対象事業

① 社会的マイノリティ（障害者・発達障害・LGBTQ等）に対する経済的、精神的、社会的自立を支援する為の先進的、革新的な取り組み

② 社会的マイノリティの権利と尊厳に関する環境整備と啓発活動

③ 社会的マイノリティへの理解を広げる為の講演会、交流会、メールマガジン等の活動

II、対象事業の要件  
 ① 2023年1月1日以降に開始し、2023年12月末日までに完了する活動及び事業を原則とする。

② 助成の対象となる経費は、活動に当たり通常必要とされる経費とし、給与等の間接的な経費は除く。ただし、活動の為に直接雇入れた者に係る経費は、この限りではない。

③ 施設の改修、補修及び整備等に係る事業については、助成対象外とする。

III、助成先及び条件  
 ① 団体および個人  
 ② 対象地域は全国

③ 反社会勢力、活動が政治、思想、宗教などの目的に偏る団体及び個人ではないこと。

## ■助成金額

① 1件（1団体）あたりの上限額は100万円

② 助成金総額は400万円

## ■選考スケジュール

① 受付 2022年10月31日（月）

② 審査・選考 2022年11月～12月

③ 選考結果の通知 2022年12月

## ■申込み・問い合わせ

① 当財団WEBサイト問い合わせフォーム

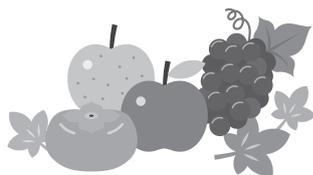
<https://www.saito-foundation.jp/contact/>

② 電話からの問い合わせフォーム

TEL043・386・9326（直通）

TEL043・350・0888（株式会社エイジス内）

月々金（祝日を除く）10時～17時 一般財団法人齋藤茂昭記念財団事務局宛て



## 高校生ボランティアリレー

米子西高校JRC部は、2年生3人・1年生1人の計4人で活動しています。

今回は、2人が参加した「交歓研修会」についてご報告します。5月30日（月）に県内の高校のJRC部員約30人が鳥取県立武道館に集まり、赤十字や募金、防災、救急法などについて実践も交えながら学びました。写真は、防災研修の中で「避難時に何を優先して持っていくか」をグループで考えたときのものです。今回の研修会で、他校の人たちと交流しながら様々な事を知り、考えを深めることができました。

鳥取県高等学校青少年赤十字（JRC）部  
鳥取県立米子西高等学校JRC部



あなたも わたしも「わ」の中へ



# 米子市 ボランティア 協議会だより

## 活動報告

### わらび会

私たちは、点訳、朗読、誘導介助を3本柱に、視覚障がい者の方たちの生活支援や様々な活動のお手伝いをしています。スマホなどの便利なツールの普及もあり、従来の点訳本や朗読テープの需要は少ないですが、出勤簿の点訳など、個別の依頼もお受けしています。

今年度は、6月に花回廊で、鳥取県視覚障がい者福祉協会西部支部と日本野鳥の会鳥取県支部主催のバードリスニングがあり、ボランティアとして参加しました。久しぶりの野外での活動で、リフレッシュできたひと時でした。また、6月に開催された「ボランティア入門講座」では、多くの方に参加いただき、点訳や誘導介助の体験をしていただきました。ありがとうございました。

永島 ひとみ

### 郷土の歴史を知る会

私たちは、歴史に興味を持ち、後世に伝えたいと意欲がある人が集まって結成した団体です。現在35名で活動しており、活動内容としては、年6〜7回の現地学習、高齢者福祉施設への訪問、夏休み中各小学校で歴史についての勉強会を行っています。また、年4回機関誌も発行しています。

高齢者福祉施設への訪問では、映像説明をしたり、一緒に体操したりと私たちも楽しみながら親睦を図っています。小学生との交流も楽しみの一つで、元気を頂いています。

今後も、健康を保ちつつ出来る範囲内で元気に活動を続けていきたいと思えますのでご協力よろしくお願い致します。

岡田 信行

### 人形劇団いとぐるま

269回（内施設慰問は149回）目の公演を目指し、コロナ感染拡大の影響を受けながらも練習に励んでいます。

昭和60年からスタートした、障がいを持った人達に社会に参加してもらう平等運動も時代と共に理解されて来た今日でも、まだまだ余暇活動の満足度

からすると低いものがあります。そんな道をもう少し頑張らなければと続いています。今年も、コロナ感染拡大の影響で公演の中止・延期と先が見通せないのですが、11月6日（日）14時より河崎公民館で、12月4日（日）午前中は米子市中心身障がい者福祉センターで開催予定です。（いずれも無料）。



写真撮影のため、マスクを取っています。

障がいの  
ある方、ボ  
ランティア  
を希望する  
方、是非お  
出掛けくだ  
さい。  
小磯 保弘

## 小さな発見、日々折々(3)

### 秋の食卓

日暮れ時間が早くなってきたこの頃、夕暮れ前に散歩を楽しむようになりました。西の空が赤く染まってくると無意識に歩みが早くなります。道々のお宅から漂ってくる美味しい匂いに、家路を急ぐ今日この頃。秋は一年のうちでも食卓がいちばん華やぐ季節だと思います。旬の魚に、キノコに野菜、この地には美味しいものがたくさんあります。ジュウツという音が耳に届かなくなってから、香ばしい香りや、フライパンの上に乗せた肉の爆ぜ方など、他の感覚が鋭くなりました。美味しくいただくことに感謝しながら、磨いた感覚で、秋の味覚をめいっぱい楽しみたいと思います。

(小島知子)

## うごき

7月16日～9月15日

- 7月
  - ◆22日…第41回「米子市福祉のつどい」コンサートに関する打合せ（中村、内藤、辻、木山、上坂、橋坂、深田）
- 8月
  - ◆25日…ぼら情誌面打合せ（小島）
- 9月
  - ◆6日…第41回「米子市福祉のつどい」準備品等確認作業（中村、岩浅、内藤）
  - ◆13日…第3回実行委員会（14団体）



## 米子がいな祭ボランティア

3年振りに米子駅前通りで開催された「第49回米子がいな祭」。「燃やせ米子の灯揚げ 伝統の灯」をテーマに久しぶりの大イベントは、多くの人で賑わい、盛り上がりました。そんな祭の成功の裏には、ボランティアの方々の支えがありました。今回は、米子市ボランティアセンターに申し込みをし、がいな祭のボランティアとして参加された方々の声をお届けします。

### 【参加された方のご感想】

米子市赤十字奉仕団は、看護師1名、奉仕団員3名が駅前ステージ裏のテントで救護班として待機していました。しかし、幸いなことに対応

するケースがなく、何か他にお手伝いできないかとスタッフの方に申し出て、2名で清掃ボランティアに出掛けました。「ソーシャルディスタンスをとってください」「食べ歩きはやめましょう」と書かれたプラカードと長バサミを持ってゴミ拾いを始めたのですが、飲食ブースもゴミの持ち帰りが徹底されていたせいか、ゴミが少なかつたように感じました。

救護ブースも、自転車で転んだ小学生のすり傷の手当対応があったものの、大きな事故もなく安堵しました。ボランティアは大変だとか、高齢者だとか思わず「参加する」、そして少しでも何かお役に立てれば嬉しいことです。元気にボランティア活動が出来る事に感謝です。

西山 満壽美

この度、ボランティアに初めて参加しました。ごみ拾いとプラカードを持ち、食べ歩き禁止と感染症対策の呼びかけを担当しました。どちらも大変でしたが、とてもやりがいを感じました。また、一緒に活動し



た仲間達も優しく接してくれ力ももらいました。そして、祭りを楽しんでおられた方々にも声をかけてもらい、元気が出たのも忘れられない思い出となりました。楽しみながら多くのことを学ぶことが出来たこの経験を活かし、これからも様々なボランティアに参加しようと思っっています。

佐々木 孝太郎

## ボランティアデータ

7月1日～8月31日

新規個人登録 (登録総数 365人)	1人
新規団体登録 (登録総数 84団体 2,804人)	0団体
依頼 (要請・お願い)	7件
相談 (助言・情報提供)	40件
コーディネート (うち活動団体 /7団体、個人 /19人)	26件

※米子市ボランティアセンターを通して行われたデータです。

## 私たちの作業所 イチオシ商品!

### 焼き立てパンボンジュール 「栗パン」 170円

栗風味の菓子パン生地には砕いた栗入りクリームを包み、栗のように焼き上げた一品です。是非、一度ご賞味ください。

現在、秋の味覚フェア開催中です。

ボンジュールでは毎日、30種類程度の商品を製造・販売しています。また、各種イベントや行事のおやつ等の注文も承っております。お気軽にご相談下さい。

【問合わせ】よなご大平園ボンジュール

米子市二本木 1690 TEL56 - 6240 FAX56 - 6228



## まちがい探し

まちがいが3つあるよ。  
探してみてね。



ボランティアに関する情報をお気軽に寄せ下さい。

TEL 23・5455 FAX 37・3855  
E-mail: veyonago@chukai.ne.jp  
米子市錦町1丁目139・3 「ふれあいの里」内

◆「ぼらんていあ情報」の置いてあるところ  
●公民館・市役所・市立図書館・市児童文化センター・  
市文化ホール・鳥取銀行市内各店・米子信用金庫市内各店・  
日交バスセンター・ふれあいの里等  
◆この情報誌に関するお問合わせ先

10月・11月休館日	
【10月】	5日、12日、19日、26日
【11月】	2日、9日、16日、24日、30日
※水曜日が祝日の場合は開館し、翌日が休館日となります。	
開所時間	8:30～17:15

# 講座案内

## 第3回レクリエーション講座

コロナ禍でも、地域活動やサロン活動で活用できるレクリエーションをご紹介します。

日にち	時間	内容／講師	定員／先着	場所
11/7 (月)	10:00 ～ 11:30	■『チェアヨガや歌リズム・歌体操をやってみよう!』 【講師】みのかや運動処よらいや NESTA パーソナルフィットネストレーナー大島雅子さん	15人	米子市公会堂

■対象 市内に在住・在学・在勤で、地域活動に興味のある方

## 第4回ボランティア入門講座

ボランティア活動の心構えを学び、ボランティアへの理解と関心を深めてみませんか。

日にち	時間	内容／講師	定員／先着	場所
12/9 (金)	10:00 ～ 11:30	■『ボランティア活動とは』 【講師】米子市ボランティアセンター職員 ■『ボランティア紹介』 ・乗馬セラピーについて 【講師】乗馬セラピーボランティアーズ会員 ・こども食堂について 【講師】こども食堂ネバーランド代表	15人	ふれあいの里 2階

■対象 市内に在住・在学・在勤で、ボランティア活動に興味のある方

■問合わせ・申込み先（2講座とも）

米子市ボランティアセンター（休館日：水曜）

TEL23-5455 FAX37-3855

※手話通訳・要約筆記が必要な方は申込時にお伝えください。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、開催を中止とする場合があります。



## 編集後記

暦は早くも10月。毎年この季節になると気もそぞろで落ち着かない。

なぜ??それは職場検診の結果次第で私の運命が定められてしまうからだ。

さて今年、「食欲の秋」となるか?それとも「食生活見直しの秋」となるか?運命の瞬間が間もなくやってくる!

(あみたんママ)